

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

清水ヶ丘地域ケアプラザが担当する対象地域（白金町、前里町、西中町、三春台、伏見町、庚台、清水ヶ丘、南太田一～四丁目）は、高い高齢化率に加え、高齢世帯や高齢単身世帯も多い状況です。

このような状況下で地域包括支援センター事業の相談活動においては、相談件数や訪問対応が増加傾向となっています。

このほか近隣にマンション等の新規住宅が増えていくなかで、子育て関連に関するニーズも年々高まりをみせている状況で、地域活動交流事業で開催する子育て関係の事業においては、毎回多くの参加者がみられます。

地域の現状と課題については、常に最新情報の把握に努め、地域関係者の皆様とともに、支援を必要とする方へ確実に支援の輪を広げられるよう努めてきました。

第3期指定管理者に選定された横浜市福祉サービス協会として地域の福祉基盤の継続及び発展が重要であると考えており、これまでの清水ヶ丘地域ケアプラザが地域の中で培ってきました伝統を円滑に引き継ぐとともに、さらに当協会としてのノウハウを重ねていくことで、地域の皆様にとってこれまで以上に充実したサービスを提供できるよう、職員が一丸となって取り組んできました。具体的には、協会の専門職同士のネットワークを通じた情報交換や専門職会議での研鑽を経て、職員の資質向上を図るとともに、地域ケア会議や生活支援体制整備事業における協議体などの場を通して、地域と課題の共有化に取り組んできました。また、地域で行われている会議等の場に出向いて、法人発行の広報誌の配布や協会主催の市民向け講座の案内なども積極的に行ってきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

施設の維持管理については、南区と締結した「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」に基づいて、施設・設備が良好な状態で利用できるよう努めてきました。

施設維持の保守点検等については、法令等を遵守し日々の通常管理の徹底を最重点業務として取り組んできました。

とくに、当施設は、中部地域療育センターと併設されており、共有部分の管理等について業務及び費用の分担をあらかじめ定め、相互に協力しながら適切に進めてきました。

イ 効率的な運営への取組について

法人として、市内20ヶ所の地域ケアプラザを運営しており、その強みを活かして法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入やリース業者との契約、職員採用や人材育成など様々な面で効率化を目指した取組を推進してきました。法人としては、毎月定例の管理職会議や専門職ごとに分化された専門職会議を年数回定例開催し、様々な視点から業務の効率化に取り組んできました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいても苦情解決担当者及び苦情解決責任者を選任し、お客様からのご意見やご要望、苦情等に対応いたしました。

また、法人として公正中立な立場から斡旋と調整を行う第三者委員制度を設け、苦情の適正な解決に向けて取り組む体制を整えています。

お客様からお寄せいただいた苦情については、毎月法人本部に報告のうえ、サービス向上委員会分科会を開催し、内容の分析を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしています。

このほか、ケアプラザ受付窓口にご意見箱を設置して、広くお客様の声を受け付けるように努めました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯対策については、とくに人手の少なくなる夜間の時間帯（17時から21時）において可能な限り夜間施設管理者を配置し対応しました。

閉館中の夜間警備については、機械警備の方法により、専門業者に委託して実施します。

大地震を始め、様々な場面を想定した「緊急対応マニュアル」を整備し、緊急事態が発生した場合には、このマニュアルに基づいて職員間の連携により対応してまいります。マニュアルの内容については、定期的に見直しを行い、必要な情報を加筆修正して実施しています。

災害発生時には、消防署の指導により作成した防災管理計画に基づき、職員による自主消防隊を組織し、対応してまいります。

このほか、ケアプラザは、災害時における在宅要援護者のための特別避難場所に指定されており、非常災害時には臨時に避難者を受け入れることも想定していますので、応急災害物資の備蓄などの準備体制を整えました。

オ 事故防止への取組について

万一事故が起きた場合でも「事故から学ぶ、同種の事故は起こさない」ことを基本に、利用者の立場に立った取組を行ってきました。

具体的には、事故に至らなかった事例についても、積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意喚起のうえ事故防止に努めてきました。

事故が発生した場合には、適正な対処に努めることはもちろん、法人本部に報告のうえ、内容の分析を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしています。

このほか、リスクマネジメントの視点を持つための研修や環境整備に努めるとともに、とくに介護保険サービスにおいては、お客様の心身の状態把握を行い、その情報をミーティング等で申し送りのうえ、職員間の情報共有を図り、事故防止の視点をもったサービスの提供に取り組んでいきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人の定める個人情報保護規程に則り、ケアプラザにおいても個人情報の管理に関する担当者及び責任者を選任し、職員に対する必要な指導及び情報提供に取り組むとともに、情報セキュリティ研修を年1回実施し、意識の啓発に努めてきました。

具体的な個人情報の管理においては、郵送物やファックス、各種配布物等の取り扱いについて、法人で定めたルールを遵守し、常に緊張感を持ってあたり、事故の発生防止に取り組んできました。

キ 情報公開への取組について

法人の定める情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応してまいります。

ケアプラザの事業内容や各種行事などについては、ホームページを定期的に更新し、お客様に最新の情報をお届けするよう取り組んでまいります。

このほか、法人の概要や財務状況、事業計画等についても法人のホームページにおいて、いつでも閲覧できるようになっておりますので、そのことについて様々な機会を通じて、お客様への周知に努めてまいります。

ク 環境等への配慮及び取組について

職員一人ひとりが日常的なゴミの分別と適正な処理を心がけ、削減に努めてきました。

省エネルギーへの取組については、法人として夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを励行するとともに、ケアプラザにおいては、館内照明の消灯管理や冷暖房の適切な室温管理に努めてきました。

ケ 人権啓発への取組について

法人本部が主催する人権研修に職員を派遣し、派遣した職員による伝達研修をケアプラザで実施し、人権に対する理解を深めてまいりました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー）3名
予防プランナー（非常勤兼務）1名

《目標》

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標に取り組んできました。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してきました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要支援状態の維持や軽減を図り、要介護状態の予防に努めてきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし。

●

●

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの居宅介護支援事業や通所介護事業、地域活動交流事業、また近隣の居宅介護支援事業所など多くの委託事業者と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてきました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	137	132	128	118	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
92	85	78	79	74	73

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）常勤2名、非常勤1名（予防プランナー兼務）

《目標》

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標に取り組んできました。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮してきました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要介護状態の維持や軽減を図り、安定した生活が営めるよう努めてきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし。

●

●

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの地域包括支援センターや通所介護事業、地域活動交流事業と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いてきました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
76	79	83	77.5	82	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
86.5	85	76.5	64	58.5	56

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（1回分）	
・ 要介護1	614円
・ 要介護2	725円
・ 要介護3	837円
・ 要介護4	948円
・ 要介護5	1,060円
● 食費負担	750円
● 入浴加算	54円
介護職員処遇改善加算	ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 7 日 （12月29日～1月3日まで休日）

《提供時間》 9：55～15：15

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 17名（常勤兼務5名、非常勤専従12名）
- 運転職員 4名（非常勤専従4名）

《目標》

ご利用者の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してきました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えるサービス提供を行いました。

サービス提供にあたっては安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指し、次のような様々な取組も行ってまいりました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）のほかに、毎月のおやつレクリエーションを企画し、レクリエーションの充実に努めてきました。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などと積極的に連携し、地域との交流を図ってきました。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてきました。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してきました。

⑤お客様の大きな楽しみの1つである給食については、夏バテ防止週間（丼物）、秋の味覚週間（天ぷら）、クリスマス週間（洋食）等の週間イベントを毎月設定し、美味しく楽しい食事としてご好評いただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節を感じていただけるように、梅やレモン、夏ミカンなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいりました。
- ・毎日提供する食事の献立については、複数日利用のお客様の献立内容が重複することがないように工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮しました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してきました。このほか、高血圧症の方や糖尿病の方、腎臓病の方などにも病状や体調に配慮した減塩食やカロリー制限食などを提供しました。
- ・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいとく保育園の児童との交流会を実施しました。
- ・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- ・南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施しました。
- ・書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
622	657	618	672	665	637
10月	11月	12月	1月	2月	3月
636	631	625	568	600	695

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（1月分）	
・ 要支援1	1, 766円
・ 要支援2	3, 621円
● 食費負担（1回分）	750円
● 入浴加算（1回分）	54円
介護職員処遇改善加算	ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 7 日（12月29日～1月3日まで休日）

《提供時間》 9:55～15:15

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 17名（常勤兼務5名、非常勤専従12名）
- 運転職員 4名（非常勤専従4名）

目標》

ご利用者の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫してきました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えるサービス提供を行いました。

サービス提供にあたっては安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指し、次のような様々な取組も行っていました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）のほかに、毎月のおやつレクリエーションを企画し、レクリエーションの充実に努めてきました。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などと積極的に連携し、地域との交流を図ってきました。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてきました。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施してきました。
- ⑤お客様の大きな楽しみの1つである給食については、夏バテ防止週間（丼物）、秋の味覚週間（天ぷら）、クリスマス週間（洋食）等の週間イベントを毎月設定し、美味しく楽しい食事としてご好評いただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節を感じていただけるように、梅やレモン、夏ミカンなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備してまいりました。
- ・毎日提供する食事の献立については、複数日利用のお客様の献立内容が重複することがないように工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮しました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応してきました。このほか、高血圧症の方や糖尿病の方、腎臓病の方などにも病状や体調に配慮した減塩食やカロリー制限食などを提供しました。
- ・近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいとく保育園の児童との交流会を実施しました。
- ・車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- ・南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施しました。
- ・書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	15	15	15	15	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	15	16	14	14	16

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

<内容・成果>

指定管理者の変更に伴う法人移管により、事務所の改修を行い、受付窓口を移設し大きく設ける仕様としました。これにより、来館者の顔が見えるようになり、また、来館者からも職員に声をかけやすくなったと大変好評です。

地域住民との顔の見える関係づくりについては、高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、お食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等に地域包括3職種、地域交流コーディネーターに加え、生活支援コーディネーターと所長・副所長も連携のうえ、多くの場に足を運び情報発信に努めるとともに、情報交換を行うなかで相談にも迅速に対応してまいりました。

また、10月にはケアプラザ全体を会場としたお祭りを「ヒルトップフェスタ」と題し、地域関係者に出店や演目披露で協力していただき、大々的に開催し、ケアプラザを身近に感じてもらえるようPRに努め、600人を超える来場者がありました。

職員のスキルアップについては、南区や横浜市が主催する研修に積極的に参加するとともに、法人として市内20ヶ所あるケアプラザ職員が専門職ごとに会議や研修を開催し研鑽してきました。

<課題・今後の方向性>

民生委員との関係づくりについて、例えば民生委員で行う自主研修や施設見学についての協力など支援の幅を広げることを目的にアンケートを実施し、民生委員が求める支援内容についてニーズを探っていきます。

また、アンケート結果を重視して方向性を決定していきますが、より相談しやすい環境づくりの一環として、民生委員児童委員協議会の定例会開催時間前に会場に伺い相談受付の機会を設けることなども視野に入れ、来年度の職員体制を検討していきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

<内容・成果>

地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターによる5職種会議を月1回定例開催し、地域情報や自主事業等についての情報交換を行い、地域住民の関係性や町内会単位での実情等を迅速に情報共有することができました。

また、地域の食事会参加の際に行うお知らせなどの周知内容について、会議をとおして検討し、時期に応じた内容を準備してきました。

<課題・今後の方向性>

今年度は情報共有を重点目標として取り組んできましたが、来年度に向けては地域情報の整理と課題の共有化を図り、職種間の事業連携について検討していきます。

3 職員体制・育成

<内容・成果>

職員のスキルアップについては、南区や横浜市が主催する研修に積極的に参加するとともに、法人として市内20ヶ所あるケアプラザ職員が専門職ごとに集まり、会議や研修を通して業務遂行手順や必要な書式等の資源開発に取り組んできました。

<課題・今後の方向性>

介護保険事業における必要な人材確保については、あらゆる方策を試みっていますが、なかなか改善の兆しが見えない状況です。

引き続き人材確保に向けて努力していきます。

4 地域福祉のネットワーク構築

<内容・成果>

生活支援体制整備事業の取組として「生活支援推進連絡会」を協議体として開催し、地域関係者と協議を進めてまいりました。

地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターに加え、所長・副所長も連携のうえ、太田地区社協・太田東部地区社協や南太田三丁目老人クラブ、三東会、三春クラブ、太田いきいサロン、ドンドン食事会連絡会へ参加協力してきました。

また、認知症キャラバンメイトの取組推進に向けて、太田東部地区のオレンジの会を中心に、太田地区の活動についても支援してきました。

このほかケアプラザを拠点として活動しているボランティアグループ（なでしこの会、ちょぼら）の活動を支援してきました。

<課題・今後の方向性>

これからの担い手づくりを視野にケアプラザ祭り「ヒルトップフェスタ」等をきっかけとして、小学校の親父の会などの団体との連携も検討していきます。

5 区行政との協働

<内容・成果>

地域包括支援センターとしては、毎月定例のカンファレンスに生活支援コーディネーターも加わり、情報共有に努めてきました。

毎月の地域包括連絡会では、区内施設との連携に努めてきました。

地域交流としては、毎月の地域ケア施設連絡会での情報共有、「サマーフレンド」や「南なんデー」での連携協力を行いました。このほか「まるごとみなみ施設交流会」・「同全体会」に参加し、情報収集やまるごとみなみスタンプラリーに協力しました。また、連携事業としてフォーラム南太田との共催事業「ヒルトップフェスタ ミニ防災フェア」を行いました。

子育て関係では、南区「親子の居場所・サロン」交流会に出席し情報交換を行いました。また、南区親子の居場所スタンプラリーに協力しました。

生活支援体制整備事業では、毎月定例の連絡会に加え、区内生活支援コーディネーターを2組に分けてワーキンググループによる課題共有・検討を行ってきました。

ケアプラザ全体として、太田地区・太田東部地区第2期地区別計画推進期末振り返り会議、第3期地区別計画推進中間振り返り会議、南区地域支援チーム連絡会に参加し、南区や南区社会福祉協議会と連携しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

<内容・成果>

地域での各サロン、行事、会合に参加し、地域におけるニーズや情報収集、ケアプラザでの取組や講座の情報の提供をしました。

地域の掲示板にポスター掲示や回覧板へのチラシ添付は毎月依頼し周知に努めました。

広報紙は年4回発行、自社ホームページは毎月更新し情報提供に努めました。また、子育て向け講座は「はぐはぐの樹」のホームページに毎月更新し掲載させていただきました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

<内容・成果>

自主事業や地域での会合、広報紙などで施設利用について周知・PRしてきました。

地域ケアプラザ祭り「ヒルトップフェスタ」を通じて、施設利用として活動の場を提供すること、またケアプラザで活動しているボランティア活動やサークル活動を地域の方へ周知することができました。

3 自主企画事業

<内容・成果>

今年度から開催している地域向け事業講座の「みんなで体操」（全12回）では、後半には家族での参加が多くなってきました。

「くらしと趣味の学習館」での講座サポーターのボランティアの方が定年となり「ちょぼら」ボランティア活動に参加されるようになりました。

広報紙や地域の会合、施設利用時の周知で「男性体操」の参加者が増えリピーター10名となりました。

子育て広場「たけのこ」ではニーズ把握の収集や情報提供などを始め、清水ヶ丘保育園との連携ができています。また、「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」では月齢が大きくなったお子さんへは子育てサークルへつなげることができました。

障がい児対象の「バリアフリーテニス」では、地域小学校から3名の新規参加者が増えました。

<課題・今後の方向性>

子育て向け講座では引き続き、清水ヶ丘保育園と連携してまいります。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

<内容・成果>

年1回、ボランティア交流会を開催し、ボランティア活動の紹介や交流の機会となっています。

「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」では、1名が施設内のボランティアにつながりました。

「傾聴みなみ交流会」に毎年参加し、2名のメンバーが定期的にデイサービスでの傾聴ボランティアとして活動されています。

南区ボランティアセンターとボランティアコーディネートの連携を行いました。また、ケアプラザに直接相談に来られた方3名について、ボランティアコーディネートをを行い活動につなげました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談
<p><内容・成果> 相談対応を迅速に行うために、地域包括支援センター職員の不在時には所長・副所長を始め、ケアプラザ全体での窓口対応を心がけました。 支援経過についても会議の場のみならず、事務所内で所長・副所長を始め、ケアプラザ全体での状況把握に努め、柔軟に対応してきました。 総合相談票の管理方法については、法人として体系化された方法に整理し、過去の相談歴の確認等、効率的な運用につながりました。</p> <p><課題・今後の方向性> 地域を取り巻く課題について、問題の多様化、増加傾向に対し、地域包括支援センターのマンパワー不足をケアプラザとしてどのように補っていくかが課題であり、これについては地域包括連絡会や研修への参加の在り方等も含め検討していきます。</p>

地域包括支援ネットワークの構築
<p><内容・成果> ケアマネジャー連絡会においては、ケアマネジャーと民生委員のみならず、訪問介護事業所のサービス提供責任者も参加して「お互いを知ろう」をテーマに顔の見える関係づくりを行いました。 関係機関との連携強化については、医療連携・他職種連携事業による事例検討会に参加し、専門職ごとに問題を捉える視点の違いがあることがわかり、それぞれの専門性を理解し深めることが出来ました。薬局の方も事例検討会に参加されており、その方から薬局でのやり取りのなかで、利用者の認知症の初期段階に気づくことが多いということや、居宅療養管理指導について詳しい情報を得ることができました。</p> <p><課題・今後の方向性> 今年度の「ケアマネジャー連絡会」において、訪問介護事業所のサービス提供責任者の参加を足がかりとして、さらに他のサービス事業者、インフォーマルサービス等も視野に入れた多職種連携を目指していきます。</p>

実態把握
<p><内容・成果> 地域包括3職種、地域交流コーディネーターに加え、生活支援コーディネーターと所長・副所長も連携のうえ、高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等へ積極的に足を運び、地域の皆様との顔の見える関係づくりに努めたことにより、直接相談をいただくことが増えました。 地域で得た情報については、毎月定例の5職種会議で共有するとともに法人が開発した地域アセスメントシートに情報を落とし込み、今後の事業展開に向けた検討材料として活用していきます。</p> <p><課題・今後の方向性> 地域の高齢者が集う「ふれあいサロン」や「食事会」、「老人クラブ」等における地域住民の様々なニーズの把握に努めるとともに、高齢者住宅等でも実態把握に努めていきます。</p>

2 権利擁護

権利擁護

<内容・成果>

新任ケアマネジャー研修と民生委員・ケアマネジャー連絡会の機会を通じて成年後見制度の普及啓発のための研修・講演を行いました。

民生委員からは、また講演を企画してほしいなどのご意見もいただき、興味・関心を持っていただくことができました。

<課題・今後の方向性>

来年度については、成年後見制度のさらなる普及啓発を目的に地域住民（主にこれから高齢者となる世代）を対象とした講座を開催していきます。

高齢者虐待

<内容・成果>

虐待部会として区と共催し、ケアマネジャーを対象に『高齢者虐待防止研修』を企画開催しました。また、新任ケアマネジャーに対しては、新しい「横浜市虐待防止指針」の理解を深めることを目的とした研修を開催しました。

実際のケース対応については、迅速に区役所と連携し、役割分担のうえ柔軟に対応してきました。これにより、世帯分離や事件化などには至らずに済みました。

介護者の心労負担軽減を目的とした介護者のつどい「みんなの会」では、虐待ケースを通じて地域住民が参加しており、間接的な見守りを行うことができました。

<課題・今後の方向性>

高齢者虐待防止について、地域高齢者や住民を対象とした普及啓発活動を検討していきます。

◎実施できなかった取組があれば改善案

ケアプラザ単独での普及啓発活動ができていなかったため、対象者を絞り対象者に合わせた普及啓発活動を行っていきます。

認知症

<内容・成果>

認知症サポーター養成講座の取組については太田小学校6年生、44名を対象にした「認知症キッズサポーター養成講座」を開催いたしました。また、地域住民を対象に西中前里1・2白金1町内会館において講座を開催し、19名の参加がありました。

また、太田東部・太田地区のキャラバンメイトの情報交換、キャリアアップを目的に年2回、定例会を開催しました。

<課題・今後の方向性>

太田地区のキャラバンメイトのスキルアップと増員について、引き続き支援していきます。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

<内容・成果>

区役所と連携し作業療法士を講師に招き、ケアマネジャーを対象に「南区介護予防事業者研修」を開催し、介護予防ケアマネジメントの質の向上に努めました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

<内容・成果>

地域包括3職種、地域交流コーディネーターに加え、生活支援コーディネーターと所長・副所長も連携のうえ、高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等へ積極的に足を運び、介護保険制度の説明や介護予防・健康関連のお話や講演会等の情報提供を行いました。

<課題・今後の方向性>

ケアプラザ祭り「ヒルトップフェスタ」での地域の皆様とのつながりづくりについて、今年度の実施状況を踏まえ、内容の充実を検討していきます。

医療・介護の連携推進支援

<内容・成果>

今年度より協力医となられた先生との連携強化に努め、地域情報の共有をすることができました。

とくに地域ケア会議やケアマネジャー連絡会に参加していただき往診の状況について話をしてもらうことで、参加者の往診に対する理解を深め、医療と介護の連携ができるような関係づくりに努めました。

また、南区・南区医師会医療連携拠点会議、在宅医療相談室主催の事例検討会や南区認知症連絡会へ参加し、医療機関と介護サービス事業との連携に努めました。

<課題・今後の方向性>

来年度については、協力医の先生と居宅介護支援事業所やサービス事業所との定期的な情報交換会や相談できる場づくりなどを検討し、清水ヶ丘エリアのさらなる連携構築に努めていきます。

ケアマネジャー支援

<内容・成果>

区内のケアマネジャーを対象にケアマネジャー連絡会を2回開催しました。民生委員や訪問介護事業所にも参加を呼びかけ連携構築に努めました。

開催に先立ち居宅介護支援事業所、訪問介護事業所に利用者を担当する居住地についてアンケートを実施し、アンケート結果を元に民生委員とのグループ分けを行い、「お互いを知る」をテーマに話し合いを行いました。

新任ケアマネジャー向けには、地域ケアプラザや地域包括支援センター機能の説明を行い、顔の見える関係づくりに努めました。

居宅介護支援事業所で行われた事例検討会に参加することで、困難ケースの後方支援を行いました。

<課題・今後の方向性>

ケアマネジャー支援について、協力医との連携、ケアマネジャー同士の情報交換会など新たな展開を検討していきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

<内容・成果>

地域ケア会議ではケアプラザの協力医と民生委員地区会長、副会長に参加してもらうことで地域での関係構築に繋がりました。

<課題・今後の方向性>

地域の高齢化が進み、民生委員の負担が多くなっている状況がみられるため、民生委員を対象としたアンケートを実施し、ニーズ把握に努めていきます。

5 介護予防事業

介護予防事業

<内容・成果>

清水ヶ丘エリア内4ヶ所での介護予防教室を支援し、介護予防への取組の評価として3ヶ所の教室で「お元気で21健診」を開催し58名の健診者がありました。また、「お元気で21健診」開催については、かいご予防サポーターの提案により、清水ヶ丘第一町内会館においても開催し、10名の健診者がありました。

<課題・今後の方向性>

来年度の「お元気で21健診」は包括版としては介護予防教室3ヶ所、地域版として2ヶ所で開催します。

6 生活支援体制整備事業

<ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成>

生活支援コーディネーター、地域包括3職種、地域交流コーディネーター、所長・副所長も連携のうえ、高齢者ふれあいサロンや子育てサロン、お食事会、民生委員児童委員協議会の定例会等へ積極的に足を運ぶとともに、単位町内会長へのインタビューなども行い、様々な機会を通じて地域の情報入手に努めてきました。

地域で得た情報については、毎月定例の5職種会議で共有するとともに法人が開発した地域アセスメントシートに情報を落とし込み、今後の事業展開に向けた検討材料として活用していきます。

総合相談の情報については、マップへの落とし込みを行い地域状況の視覚化に取り組みました。

<圏域レベルの協議体の設置・開催>

これまで行っていた「地域支え合い連絡会」を基盤に、新たに整理して「生活支援推進連絡会」を協議体として開催し、地域関係者と協議を進めました。

<圏域レベルの目標・取組事項の設定>

毎月定例の南区生活支援コーディネーター連絡会に参加し、区内の生活支援コーディネーター、南区役所、南区社会福祉協議会との連携に努めてきました。

南区生活支援コーディネーター連絡会から2組のワーキンググループを組織し、こちらについても毎月定例で会合を行い、区域の課題等について検討を進めてきました。

<具体的な取組事項への着手>

今年度については、地域情報を把握する中で、連携が必要な外部団体の定例会に参加し、協力体制を構築してきました。

来年度に向けては新たな担い手世代の獲得に向けた講座等を検討していきます。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	15,888	23,042	151	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	8,373	10,810	71,413	0	0
	その他	6,501	6,363	0	4,125	0	1,644	2,671	1,336
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	4,125	0	0	2,671	0
	雑収入	0	0	0	0	0	283	0	0
	修繕追加分	1,021	271	0	0	0	1,361	0	0
	事業費収入	214	0	0	0	0	0	0	0
	事務費収入	19	72	0	0	0	0	0	0
	法人負担分	5,247	6,020	0	0	0	0	0	1,336
	収入合計(A)	22,389	29,405	151	12,498	10,810	73,057	2,671	7,125
支出	人件費	12,335	25,474	0	777	20,017	51,361	0	6,821
	事務費	3,062	2,012	0	8,854	1,757	17,821	0	
	事業費	826	542	151	0	18	11,216	0	304
	管理費	5,179	1,377	0	0	0	0	0	
	その他	987	0	0	0	0	1,519	0	0
	消費税	987	0	0	0	0	0	0	0
	その他(利用者外等 給食費支出)	0	0	0	0	0	158	0	0
	修繕追加分	0	0	0	0	0	1,361	0	0
支出合計(B)	22,389	29,405	151	9,631	21,792	81,917	0	7,125	
収支 (A) - (B)	0	0	0	2,867	-10,982	-8,860	2,671	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちよこっと ボランティア 生活応援団 ちょぼら (高齢者支援)	ボランティアグループ生活応援団「ちょぼら」が地域の高齢者などを対象に生活支援を行っているもので、ケアプラザでは、地域の皆さんからの依頼を受けるなどの相談・連絡・調整を担当しました。電球の交換から庭木の剪定、草むしり、障子の張替えなどを実施しました。	随時 年間60件

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいサロン (高齢者支援)	各町内会婦人部などが担い手となって実施しています。地域の高齢者の外出と仲間づくりの支援が主な目的となっていますが、赤ちゃんからお年寄りまでの異世代交流を目指しています。各町内会館を会場とし簡単な体操、会食、手芸、歌などのレクリエーションや外出レクリエーション、外食などを行いました。	南太田ふれあい サロン (年12回) 三春台ふれあい サロン (年13回) 前里町ふれあい サロン (年37回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なでしこの会 食事会 (高齢者支援)	配食ボランティアグループ「なでしこの会」と共催で実施しています。食中毒予防のため、配食サービス中止の夏期間に利用者をケアプラザに招いて行っているもので、会食と他ボランティアグループによる歌・演奏などを楽しんでもいただきました。	年1回 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「ベビーマッサージ とベビーヨガレッ チ」 (子育て支援)	乳児とその母親を対象とした講座で、赤ちゃんとのコミュニケーションを学びつつ、ケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいます。また乳児を持つ母親に気分転換や地域での居場所作り、友だち作りの機会を作ります。 講師を招き、1時間半のベビーマッサージとベビーヨガレッチを行いました。	年10回第1木曜日 4月、6月、7月、8 月、9月、10月、11 月、12月、1月、2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「たけのこ」 (子育て支援)	子育て中の親子を対象に、毎月第2、第4金曜日に多目的ホールを開放して自由に過ごしてもらいました。 子育て全般の支援を目的としているほか、子育て中の母親同士やボランティアと母親の交流の場を目指します。支援者として清水ヶ丘保育園保育士、カンガルークラブ、地域の読み聞かせボランティアに協力いただきました。	月2回 毎月第2、第4金 曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「子育てコーチン グ」 (子育て支援)	子育て講座の単発講座として年2回子育てに関するヒントを学ぶとともにケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいます。 講師を招き、1時間半の座談会を行いました。	年2回 5月、10月

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「親子でチャレンジ！」 (子育て支援)	保育園・幼稚園児、小学生とその保護者を対象に、南区ヘルスマイトを講師に迎え親子での料理作りを楽しみます。身近な地域ケアプラザを利用し親子での交流やボランティアとの交流の場を目指します。	年1回 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーコンサート (子育て支援)	音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図りました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バリアフリー テニス (障がい児余暇 支援)	障がいのある小学生・中学生を対象にした余暇支援講座です。テニスを媒体として親子や友だちと楽しい時間を過ごしました。障がい児を抱える家族の負担を軽減するとともに、子どもたちに余暇活動の機会を提供し、活動の場を地域に広げることを目指します。	年3回 7月、12月、3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操 (地域支援)	地域の親子や家族、住民を対象に身近なケアプラザを利用し、講師を招きみんなで体を動かし、家族で楽しい時間を過ごしました。	年12回 第2日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くらしと趣味の 学習館	主に「生活応援団ちよぼら」のメンバーなどを講師に迎え、住まいの小修繕や趣味の講座を実施しました。住まいの小修繕等の講座を通じて仲間作りや地域参加を推進しボランティア活動に興味を持ってもらうことを目的とします。	年6回 4月包丁の砥ぎ方 5月風呂敷でラッピング 6月庭木の剪定方法 7月おりがみ教室 9月紐の結び方 11月刃物の砥ぎ方

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽サロン	歌うことによる健康づくりと外出機会のひとつとなり、みんなで集まることによる仲間づくりと交流を促進することを目的とします。	年4回 5月, 8月, 11月, 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性体操教室	男性のための筋力アップと介護予防のための体操を行うとともに参加者同士の交流や外出の機会を作ります。	月2回 毎月第2、第4 日曜日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア研修「食中毒とその予防」	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象とした講座です。ボランティアのスキルアップを目的とします。	年1回 7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	地域の方やケアプラザで活動中のボランティアを対象によこはまシニアボランティアポイント登録のための研修会を行いました。	年1回 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドンドン商店会縁日出店	地元商店会の縁日に参加し、ケアプラザのPRを兼ねて地域住民との交流を図っています。ボランティアの協力により、ゲームコーナーやミニバザーなどを企画しました。	年1回 8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象に実施します。日頃の活動に対する感謝とともに、ボランティア同士の交流と親睦を図ります。各団体の紹介を中心に、歌、楽器演奏なども披露していただいています。	年1回 3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太田東部地区「健民祭」参加	太田東部地区で開催される健民祭に参加し、町内会・民生委員と連携して地域住民との交流、ケアプラザのPRをしてまいりました。	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区健康福祉まつり「南なんデー」参加	ケアプラザのPRと住民との交流を目的に南区ケア施設連絡会として参加しています。パネル展示で施設の紹介を行うとともに、区役所と協力し異世代交流を目的にゲームなどで子どもたちとふれあいます。	年1回 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
清水ヶ丘地域ケアプラザ祭り「ヒルトップフェスタ」	ケアプラザのPRと地域住民との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との連携を目的に行いました。	年1回 10月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者の集い「みんなの会」	介護者を抱える家族を対象に外出や気分転換の機会を提供し、活動の場を地域に広げてもらうとともに、介護や介護者に対する理解を深めてもらうことを目的に開催いたしました。	年12回 毎月第3金曜日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見勉強会	民生委員・ケアマネジャー連絡会の中で「成年後見制度について」の講演会を開催いたしました。	平成29年1月27日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者虐待予防普及啓発講座	地域住民・支援者向けに高齢者虐待について知ってもらえるように普及啓発の講座を開催します。	実施なし

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	「認知症を学び、地域で支える」をテーマとして、太田地区と太田東部地区の地域にて、キャラバンメイトによる講座の開催の支援をいたしました。	平成28年度 (計2回) 下半期

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネジャー連絡会	地域のケアマネジャー、訪問介護事業所と民生委員との顔の見える関係作りの構築を目的として、協力医で東都先生より、「あずま医院の往診」と「成年後見制度」の講演会として連絡会2回開催しました。	平成28年度 (計2回) 下半期

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化事業「いきいきダンベル体操教室」	太田東部地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室を企画・開催いたしました。	平成28年度 (計18回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「ハッピー♡ストレッチ」	地域における介護予防グループ活動を広めることにより、高齢者が地域の中で人とつながりながら、健康で生きがいのある活動的な生活を送ることが出来るようになることを目的とし、区と共催し、65歳以上の高齢者及びその支援のための活動に関わる方を対象に、月2回、介護予防を目的としたダンベル体操教室の開催を支援いたしました。	平成28年度 (計19回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気作りステーション事業「南太田すこやか体操教室」	太田地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の開催を支援いたしました。	平成28年度 (計20回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気作り ステーション事業 「清水丘第二玄米 ダンベル体操教室」	太田東部地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の開催を支援いたしました。	平成28年度 (計23回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域版「お元気で2 1健診」	清水ヶ丘第一町内会館において、かいご予防サポーターと南区役所とともに「お元気で21健診」を開催いたしました。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ダンベル体操合同練習会	横浜スポーツフェスティバルの発表会に向け、4ヶ所の介護予防教室の参加者による合同練習会を開催いたしました。	年1回

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育て広場 「ベビーマッサージとベビーヨガ ガレッチ」	未就園児親子	66,820	48,220	18,600	66,820	0	0
	各20組						
	500円						
子育て広場 「たけのこ」	乳幼児親子	889	889	0	0	0	0
	参加自由						
	無料						
子育て広場 「コーチング」	親子	13,364	5,864	7,500	13,364	0	0
	各10組						
	1組500円						
子育て広場 「親子で料理にチャレンジ！」 ※共催：南区ヘルスマイト	親子	0	0	0	0	0	0
	各13組						
	1組300円						
子育て広場 「ファミリーコンサート」	乳幼児親子	6,682	6,682	0	6,682	0	0
	各15組						
	無料						
障がい児余暇支援事業 バリアフリーテニス	障がい児	34,050	28,650	5,400	34,050	0	0
	各10名程度						
	300円						
みんなで体操	地域	66,816	66,816	0	66,816	0	0
	各30名程度						
	無料						
くらしと趣味の学習館	地域	28,667	14,867	13,800	28,667	0	0
	各15名程度						
	300円～500円						
音楽サロン	地域	53,456	36,556	16,900	53,456	0	0
	各40名程度						
	100円						
男性体操教室	地域男性	195,998	133,998	62,000	195,998	0	0
	各15名程度						
	500円						
ボランティア研修会 「食中毒とその予防」	地域	4,056	4,056	0	4,056	0	0
	各30名程度						
	無料						
よこはまシニアボランティアポ イント登録研修会	地域	0	0	0	0	0	0
	各15名程度						
	無料						
ドンドン商店会縁日出店	地域	22,514	3,514	19,000	22,514	0	0
	200名						
	内容により						
ボランティア交流会	ボランティア	142,190	142,190	0	0	0	142,190
	60名						
	無料						
ヒルトップフェスタ	ボランティア	179,311	108,061	71,250	0	0	179,311
	60名						
	無料						
介護者の集い「みんなの会」	介護者	52,807	52,807	0	43,433	0	9,374
	各30名程度						
	無料						
ケアマネジャー連絡会	ケアマネ	3,910	3,910	0	0	0	3,910
	各30名程度						
	無料						
いきいきダンベル体操教室	地域	147,704	147,704	0	100,224	0	47,480
	各15名程度						
	無料						
地域版 お元気で21健診	地域	2,000	0	0	0	0	2,000
	15名程度						
	無料						
ダンベル体操合同練習会	地域	3,341	3,341	0	3,341	0	0
	20名程度						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。